

# こめつつじ



十勝岳の噴煙(62-2 火口)

2024年 **9** 月号

NO 519



**善通寺山の会**  
**YAMANOKAI**

＜常念岳編＞ 常念岳～蝶ヶ岳

一の沢



常念小屋からのモルゲンロート



常念岳



常念岳山頂の雷鳥



常念岳山頂



<蝶ヶ岳編> 常念岳～蝶ヶ岳

蝶ヶ岳ヒュッテ



三股へ



県連講習会案内

## 岩場での基礎講習

■日 程 2024年 9月 29日(日)

■場 所 大屋富の岩場

■

県連で毎年行っている講習会ですが、ビレイステーション、シングルピッチ、マルチピッチ確保技術の基本、懸垂下降、トラブルシューティングなど行う予定です。詳細がまだ未定のため、分かり次第メールにてご案内しますので、岩登りをされている方は、参加のほど宜しくお願い致します。

定例山行案内

## リーダーの為のロープの使い方

■日 程 2024年 10月 5日(日)

■目 的 リーダーの為のロープワーク

■場 所 天霧山(案)

■グレード 1A

■

■準備会 9月 18日(水)、PM7:30～、事務所にて行います。

登山中にロープが必要な場合は、そのパーティーの置かれた条件により様々です。リーダーは様々なシーンにおいて、行動に潜んだリスクを**的確に判断**して「ロープによる確保」を**必要十分かつ素早く**できることが理想です。

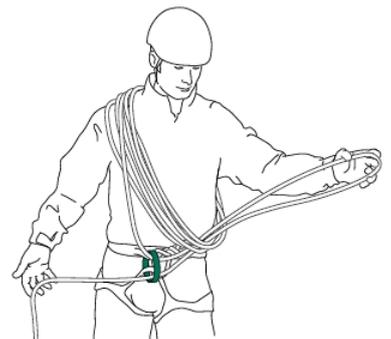
- 危険個所の判断

(一見あまり怖くないけど、スリップしたら重大事故になる箇所 etc.)

- メンバーの技量と体調、疲労度。
- 天候。
- 時間。

今回は、このような現場での状況判断と的確なロープの使い方を学習します。主なメニューは、下記の内容です。

- フィックスロープの張り方。(水平、登り、下り)
- 上からの確保による安全な登り。
- ロワーダウンによる安全な下降。
- 懸垂下降。
- パーティー内での役割分担(指示)の仕方。
- スピーディーなロープ操作。(出す、仕舞う)



定例山行案内

# 前山ダム～女体山774m～大窪寺

- 日程 2024年 10月 6日(日)
- 目的 四国の道で大窪寺へ
- 場所 香川県 さぬき市
- 準備会 9月20日(金) 19:30～ 事務所にて
- 体力度 2★★☆☆☆(初心者)
- 難易度 A★★☆☆☆(初心者～初級)

女体山は結願の寺八十八番大窪寺の北に位置する774Mの山です。  
さぬき市の前山ダムからこの女体山を越えて大窪寺に行きます。  
(逆のコースも考えています) 舗装路を多く歩くコースです。

以下の2コースを考えています。準備会で決定します。

- ① 大窪寺に回送車を置き、前山ダム(道の駅長尾)から大窪寺へ歩くコース。
- ② 道の駅長尾からバスを利用し大窪寺へ。大窪寺から前山ダムへ歩くコース。

○行動時間 6時間(休憩含む)

○距離 約8.5km

○標高差 道の駅～女体山 約+630M 距離約7.2km

女体山～大窪寺 約-330M 距離約1.3km

※コース②では登りと下りが逆になります



定例山行案内

## 北アルプス・上高地・涸沢周遊トレッキング

■ 日 程 2024年10月11日（金）～14日（月・祝）

■ 目 的 上高地・涸沢の紅葉を楽しむ

■ 場 所 岐阜県・長野県（松本市）

■

■ 体力度 3★★★☆☆

■ 難易度 2★★☆☆☆

■ 準備会 済

北アルプス・上高地・涸沢の紅葉をゆっくり楽しみます。大正池から田代池、河童橋、そして明神まで上高地自然研究路を散策、紅葉で有名な涸沢周遊をします。時間と体力があれば槍ヶ岳が見える槍河原（一の俣）まで足を伸ばそうと考えています。7時間から8時間ぐらい歩きますので、ボックトレーニングをしておいてください。



定例山行案内

## 奥穂高岳 3190m ザイテングラート(一般道)コース

- 日 程 : 2024年10月11日(金)～14(月)
- 目 的 : 日本第3位の穂高連峰の盟主を登る
- 場 所 : 長野県
- 
- 準備会 : 9月の例会で参加者最終確認して後日連絡します。
- 体力度 : 4(中級)
- 技術度 : D(中級)

初日バスで上高地周辺に宿泊。2日目上高地～涸沢5時間歩行して泊、3日目涸沢～奥穂高岳～横尾7時間歩行して泊、4日目横尾～上高地2時間半歩行後バスで善通寺へ。

ハシゴ・鎖場が数か所あり、岩の道を歩くところもあるので岩場歩きの経験が必要です。参加希望者はリーダーまでメールか電話 お願いします。



山行案内

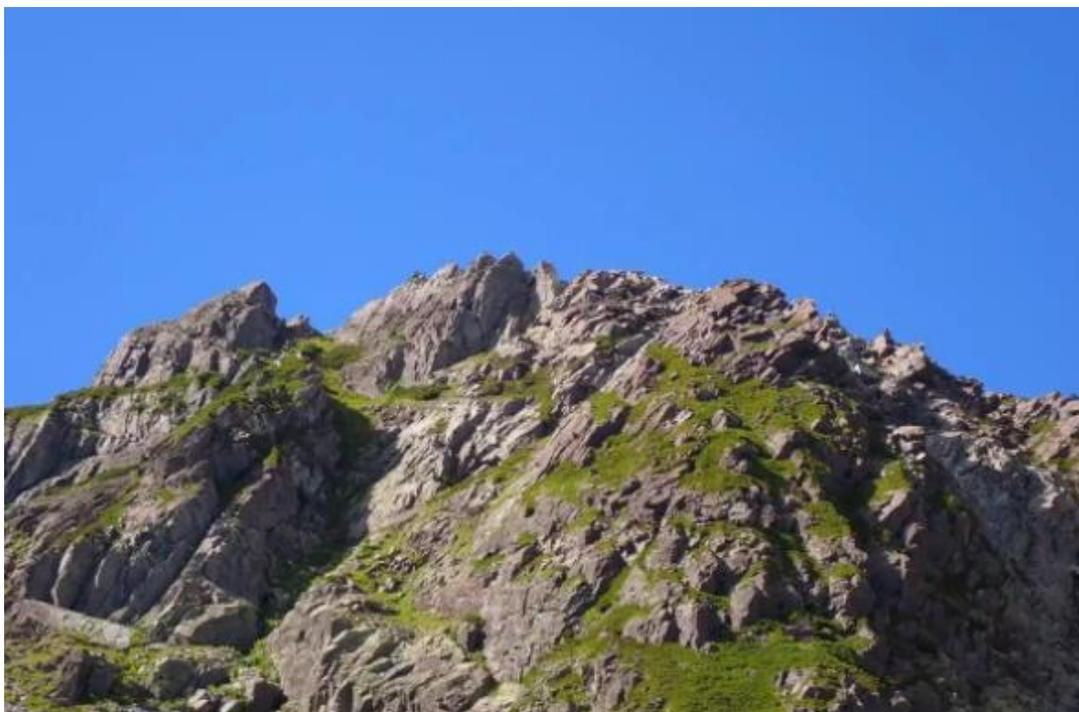
## 北穂高東稜「ゴジラの背」

10月のバス登山で穂高の山々を訪れますが、その中の一つのコースが、「ゴジラの背」です。なんとも<sup>いか</sup>厳つい名前ですが、北穂の東稜がゴジラに似ていることから名づけられた、俗称です。

コースは一般登山道ではなくて、ルートの定かではないバリエーションルートとなりますが、その入門コースといったところです。

3級程度の岩が登れる、セルフビレーが言われなくてもできる、確保ができる、こんなことができれば参加できます。

- ❖ 日 程 2024年10月11日～14日
- ❖ 場 所 長野県「北穂高岳東稜」
- ❖ 目 的 ゴジラの背を楽しく歩く
- ❖
- ❖ 準備会 9月19日木曜日 19時30分から



定例山行案内

## 岩トレ-7

- 日 程 2024年10月19日(土)
- 場 所 大屋富の岩場(坂出市)
- 
- 準備会 無し 事前にZメールにて案内します
- 持ち物 ハーネス、ヘルメット、スリング、カラビナ、ロープ(持っている人)などの登攀道具、昼食など

定例山行案内

## 岩場歩きの基礎

昨年までは四国と近隣県での山歩きが中心でしたが、今年は岳人憧れの3000m級の山々を訪れることが多くなりました。

高山の山を歩くときに気を付けたいことは、体力と技術が自分に合っているかどうかを客観的に見ることで、登りたい山と登れる山は違います。特に高い山では岩場が出てくるので、岩場を安全に歩ける技術が要求されます。

今回のご案内は、そのための技術を習得するためのものです。

- ❖日 程 2024年10月19日(土曜日)
- ❖場 所 坂出「大屋富ゲレンデ」
- ❖目 的 岩場を安全に歩く技術を学ぶ
- ❖
- ❖準備会 開催しませんので、メールにて申し込みください。

定例山行案内

## 香川県連行事 女性交流登山 ～女木島～

- 日 程 2024年 10月 20日(日)
- 目 的 女性の登山の自立を目指し、香川県連の女性交流を深める
- 場 所 香川県高松市
- 
- 準備会 9月 30日(月) 19:30～、事務所
- 体力度 1 ★☆☆☆☆(初心者)
- 難易度 A ★☆☆☆☆(初心者)

香川県連主催の女性交流登山です。今回は、美しい白浜の女木海水浴場で山筋ゴーゴ一体操を行い、360度瀬戸内海と島の絶景を楽しみながらのんびり歩きます。



カモメの駐車場…港周辺の防波堤にずらりと並んだカモメ。風が吹くといっせいに方向を変えます。ときどき本物も混じっています。

モアイ像



オーテ…いかにも「鬼ヶ島」らしい石垣。季節風から家を守るため、高く築かれた石垣のこと。オーテの中は迷路のようで、歩くだけでも楽しいですよ。



恋人岬(弓ヶ浜)…美しい弓形をした白浜の海岸の先端、鬼の角の形をした石積みの突起広場。瀬戸内海と屋島が一望できる絶景ポイントで、別名「恋人岬」と呼ばれる。県内随一の水質を誇り、快水浴場百選にも選ばれています。

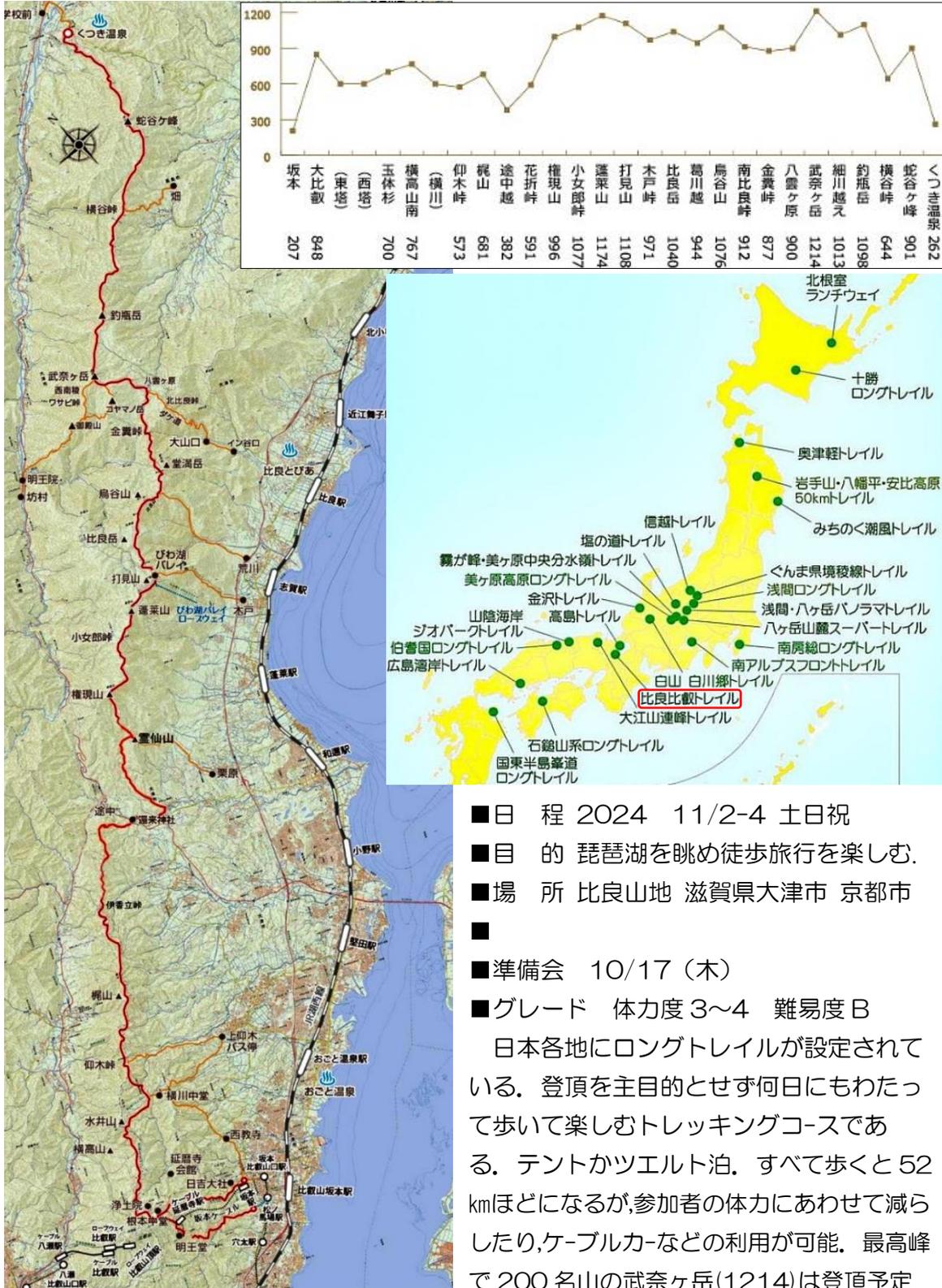
《フェリー》 高松～女木島(片道) 370円

- ・高松発 10:00 → 女木島着 10:20
- ・女木島発 15:20 → 高松着 15:40

女木港に到着後、女木海水浴場へ移動。全体で山筋ゴーゴ一体操を行い、終了後は各自自由行動です。善通寺山の会は女木海水浴場～灯台～円山古墳～恋人岬コースを予定しており、時間があればビーチ沿いのカフェなどに寄りたと思います。

定例山行案内

# 比良比叡ロングトレイル



- 日程 2024 11/2-4 土日祝
- 目的 琵琶湖を眺め徒歩旅行を楽しむ。
- 場所 比良山地 滋賀県大津市 京都市
- 準備会 10/17 (木)
- グレード 体力度 3~4 難易度 B

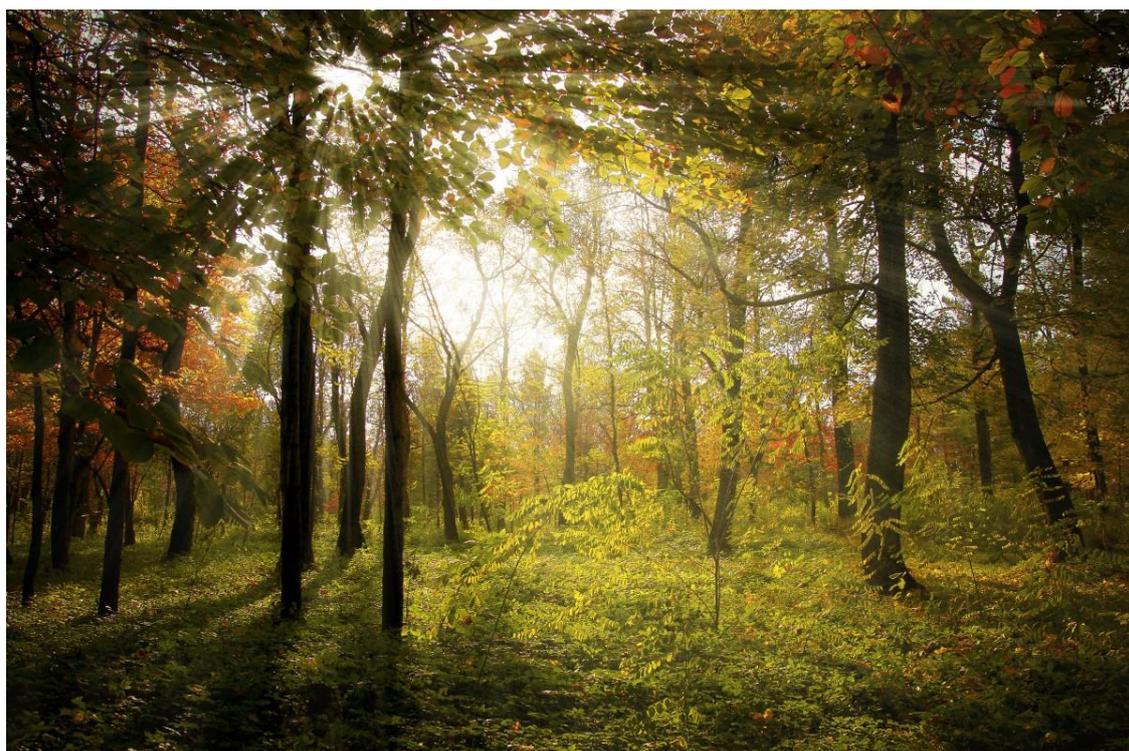
日本各地にロングトレイルが設定されている。登頂を主目的とせず何日にもわたって歩いて楽しむトレッキングコースである。テントかつエルト泊。すべて歩くと52kmほどになるが、参加者の体力にあわせて減らしたり、ケーブルカーなどの利用が可能。最高峰で200名山の武奈ヶ岳(1214)は登頂予定。

## 2024年度の山行、ハイキング、行事の予定

会報に案内を載せている以降の予定です。スケジュールに入れて参加しましょう。

月	日	曜日	山行予定	
10	27	日	四プロ遭対講習会（香川）	
11	2～4	土日月	ロングトレール1	
	2～4	土日月	妙義山	
	10	日	クリーンハイク（五色台）	
	16	土	岩トレ8	
	17	日	瀬戸内の島（拡大山行）	
	23・24	土日	竜が岳（三重県）	

上記予定は変更になる可能性もあります。



## 丸石谷 沢歩き

- 日 程 2024年7月28日(日)
- 場 所 徳島県 つるぎ町
- 目 的 夏の風物詩 沢歩きを堪能
- 参加者 3名
- 費用 走行距離 178km 1,860円

7:00 出発=9:10 奥祖谷二重かずら橋駐車場 9:50…10:15 入溪…14:50 駐車場 15:10  
=18:00 事務所着

猛暑日が続く中、今シーズン最初の「沢歩き」に参加した。奥祖谷二重かずら橋を渡り、ロープで谷まで降りて入水した。谷に降りるだけでひんやりする。水は冷たく、綺麗で気持ちが良い。滑らない岩を確かめながら歩いて行く。水が透き通っているので、川底の状態が見やすく、足を置く場所がわかりやすい。足をのせてみて大丈夫そうなら体重を掛ける。最初はぎこ



ちないが、慣れるとうまく歩けるようになる。大きな岩や滝も出て来て、滝越えにも挑

戦する。腰まで浸かることもあるが、これも沢の楽しみ。2時間程進むと、善通寺山の会の釣り名人が現れた。実は3時間前から、我々のために魚を釣ってくれていた。今日は当たりが少ないらしいが、次々に釣り上げる様子は流石である。そして平坦な場所で昼食タイム。沢恒例の「そーめん」と「アメゴのガーリック・バター焼き」。大きなフライパンを持って来て良かった。満腹になって、

沢から登山道に登って、かずら橋まで戻って行った。4時間半の丸石谷沢歩きであったが、川底を歩くだけでなく、小さな滝や岩を登ることが出来て楽しかった。



## 子持権現山 ホンガケ道

- 日 程 2024年8月4日(日)
- 場 所 愛媛県 西条市
- 目 的 いにしへの修験道を歩く
- 参加者 6名
  
- 費用 走行距離 245km 1,640円/人

事務所 04:30 出発=07:15 瓶が森第一駐車場 07:40…09:20 鳥越 09:40…12:50 小劔山  
13:10…14:05 子持権現山頂 14:25…15:45 子持権現山林道側登山口…15:55 瓶が森第一  
駐車場 16:05=事務所 19:05 到着

小生、山の会入会后初の山行となった子持権現山。5か所(計150m)の鎖場、数か所の崩壊部トラバース、不明瞭なルート等、聞くだけでも色々と脳内で不安が拡がり、尻込みしてしまいそうになったが、逆にこのようなルートこそ山の会山行という説明文にワクワク感が勝利して参加させていただいた。

当日は午後から山間部で雨の予報があり、出発時刻を30分早めて4:30事務所を出発。すでに気温は30℃を超え、かなり蒸し暑く遠くからは稲光がみえた。

いよ西条ICから瓶が森林道経由で瓶が森駐車場へ。各自準備運動の後、装具をまとめて出発。降雨が少ないためか若干残念に見える瓶壺に立ち寄り、急な荒れた登山道を西之川方へ下っていく。登山といえば、始め登って山頂を踏んでから下山というイメージがあったが、今回のルートは急降下から始まり後半急登と、いつもの逆になり不思議な感覚。後半の鎖場まで脚を残しておかなければ!



1時間半ほど下って鳥越に到着。20分ほど休憩し、ヘルメットとハーネスをつけて立入〇止の看板を横目に出発。ここから修験のホンガケ道となり、否応にも気が引き締まる。一気に踏み跡が不明瞭になり、小生は早くもロスト。。。ところどころに【石土山参道】と書かれたアルミ製の方向板があるものの、空高く天を指しているもの、地面に突き刺さっているもの、倒木についているものなど、ほとんどあてにならない。そんな中、地図とコンパスを片手にCL,SLは偵察へ行き、次々と進むべきルートを見つけていく。特殊能力をもっているとしか思えない。読図ができるとは、こういうことなのかあ。

鳥越から1時間20分ほど歩き、子持権現山頂からのびる尾根にとりついた。ここからが本日のメイン。山頂まで鎖場と急登の連続だが、岩が濡れ、苔がむして滑りやすい鎖場はロープで確保してもらったので、思いのほか怖くありませんでした。

歩みを進めつつ、ロープワーク、岩場の登り方・足の置き方・落石をおこさない様に歩く、木を掴むときは信用せず根元からつかむ（実際に直径5cmほどの木が簡単に折れた）、笹を掴んで登るときは押し込むように掴むなど、レクチャーを受けながら登ったので、とても勉強になりました。



一の鎖通過後、核心部ともいえる落ちたら確実アウトの崩落部をトラバース、小劔山を鎖で登り降りし、笹の急登を気合いで登り、みんなの口数がほとんどなくなったところで子持権現をお祀りする山頂直下の岩窟に到着。



楽しみにしていた御尊像は、子供を抱いた権現様かと思いきや、怖い顔に似合わない「シェ〜っ」のポーズで在られました。

20分ほど休憩し子持権現山頂を踏んでから行程最長80mの1本鎖をローダウんで降下。全員無事下山し帰りの車に乗り込んだ直後、一気に土砂降りの雨になりました🌧️（それまで子持権現様が雨を止めていてくれたのだと信じています☆彡）

初山行はメンバー皆様のサポートを得て無事に歩ききることができ、達成感も大きなものがありました。しかし、ルートファインディング、ロープワークはすべて頼ってしまったので、今後は岩トレーニングや他山行に積極的に参加し、スキル向上に努めていきたいと思います。

## 夏の常念岳(2,857m)～蝶ヶ岳(2,677m)テント泊縦走

- 日 程 2024年 8月10日(金)～13日(火)
- 場 所 長野県 松本市
- 目 的 夏の常念山脈テント泊縦走
- 参加者 4名
  
- 費 用 移動：1,240km(往復) 約36,150円/人(3泊と食事含む)

8月10日(1日目：移動日) 晴れ

事務所7:45＝善通寺IC＝(瀬戸中央道経由)＝安曇野IC＝17:25 安曇野市ホテル(泊)

8月11日(2日目：常念乗越への登り) 晴れのち曇り

ホテル発4:10＝4:40 穂高駐車場＝5:10JR 穂高駅5:25＝(タクシー)6:05 林道(崩落箇所手前まで)6:10…6:40 一ノ沢登山口6:50…8:25 大滝ベンチ…10:50 胸突八丁…12:30 常念乗越…12:50 常念小屋…13:00 テント場(泊)

今回は意を決して、山の会恒例の北アルプスでのテント泊縦走というハードな夏合宿山行に参加させて貰った。今年は「パノラマ銀座」と呼ばれる常念山脈で、具体的には一ノ沢から常念山脈に登りテント泊、翌日、常念岳を越えて蝶ヶ岳まで縦走してテント泊、その翌日に三股に下山するコースとなった。天候が良ければ、稜線からは槍ヶ岳や穂高連峰などを一望できる素晴らしい縦走コースだ。

**1日目**は、車で高速道路を利用し、安曇野市のホテルで前泊した。**2日目**は、早朝の暗い内にホテルを出発し、JR 穂高駅近くのとても広いと言われる登山者用駐車場に向かったが、5時前なの既に満車状態であり、山の日を含む夏休み3連休の凄さに驚いた。何とか苦労して車を置き、タクシーで登山口



に向かうが、数日前に途中の林道が崩壊してしまい約1.5km余分に歩くというハプニングもあった。

登山口には、「熊出没注意」の大きな看板が目立つ。CLが登山届を提出し登り始める。一ノ沢ルートは、沢沿いに登るコースで、沢に癒やされながら、最初はやや緩やかで歩き易いが、終盤の胸突八丁からは急登とな

る。何回か沢を渡渉したり、丸太橋を渡ったり、終盤にはお花畑も見ることが出来て変化のあるコースである。ガレ場の沢を歩くとルートが分かり難く、プチロストもあった。

最後の急登を登り、常念乗越に出ると、急に稜線の向こう側の眺望が広がる。到着時はガスがあったが、一時的にガスが流れて瞬間的に槍ヶ岳が雲間からその勇姿を見せてくれる。とても幻想的であり、標高差 1,350m を苦勞して登ってきただけに、何とも言えない感動の瞬間になった。テント



常念岳への登り口

設営を終え、常念山荘で缶ビールを購入し祝杯をあげた(笑)。日暮れまで時間はたっぷりあるので、ゆったりと優雅な時間を過ごしているとガスが一時的に流れ、全く見えなかった常念岳が姿を現した。

その後 16 時過ぎには山での楽しい夕飯を食べ、夕暮れを待った。日没頃にはガスも無くなり、夕闇には槍ヶ岳の素晴らしいシルエットがくっきりと浮かんでいた。

8月12日(3日目:常念岳～蝶ヶ岳縦走日)快晴のち曇り

3:30 起床 テント場発 5:10…常念小屋 5:30=7:10 常念岳…9:25 小ピーク (2512m)  
…10:20 小ピーク (2592m)…11:55 蝶ヶ岳…12:25 横尾分岐…13:00 蝶ヶ岳ヒュッテ  
…13:10 テント場(テント設営)…13:45 蝶ヶ岳…13:55 テント場(泊)

8月13日(4日目:蝶ヶ岳からの下り→移動)晴れ

4:00 起床 テント場発 5:30…7:30 まめうち平…9:05 三股登山口…9:25 三股駐車場  
=(タクシー)10:30 穂高駐車場=(しゃくなげの湯)12:10 =21:35 事務所

**3 日目**は、深夜 3 時半に起床し、暗い内に朝ご飯を食べて早々に出発した。予想通りの快晴の下、常念岳へのガレ場や岩場を一気に標高差 400m ほどを登る。標高が高いため空気が薄いことを実感し、呼吸に気を付けて登った。周囲に見えるのは超絶絶景ばかりで、槍ヶ岳から穂



常念岳からの槍ヶ岳、穂高連峰

高連峰に繋がる稜線もくっきりと見えた。

そんな興奮のまま山頂に到着すると、360 度のパノラマ絶景が広がり、遠くには富士山もしっかりと見えた。また蝶ヶ岳へ伸びる縦走路も一望できて感動的だ。山頂は岩場で狭く、登山者が多いので、長居せずに蝶ヶ岳への縦走路へ進んだ。

頂上からの下りは急な岩場が続き、気を遣う歩きとなり時間を要したが、高度が下がるとやがて



蝶ヶ岳への縦走路

樹林帯に入る。それまでの岩場主体の道とは異なり、木々による日陰もあり、日当たりの良い場所ではお花畑も広がっていて、変化に富む景色を楽しませてくれた。

二つの小ピークへの登りや下りを過ぎると、ラスボスの蝶槍への登りとなる。蝶槍山頂に近づくと岩場の登山道になる。残念ながらこの辺りからガスが上がり視界が悪くなった。蝶槍から先の縦走路は歩き易い道で、眺望が良いはずだがガスで視界は良くなかった。やがて蝶ヶ岳ヒュッテに到着し、テントを設営してから、直ぐ近くにある山頂に手ぶら散歩感覚で移動した。山頂はなだらかで広い地面に大きな山頂の標識杭が立っており、ゴツゴツした岩場で狭い常念岳山頂とは対照的だった。



この日も缶ビールで祝杯を上げ(笑)、夕食はなんと生トマトなどが入った手作りの超絶美味しいハヤシライスで満腹になり、この上ない幸せを感じつつ眠りについた。



**4日目**は、4時に起床した。テント場からは、眼下には綺麗な雲海を見ることが出来た。心配していた台風5号の影響も無く、無事に三股に向けて下山を開始した。食料は減って軽くなったが、テント本体は夜露で濡れた分、重くなっている。

三股ルートは蝶ヶ岳への王道ルートと言われている。歩き始めると程なく樹林帯に入るが、急傾斜部には階段などが設置されており、全体的に綺麗に整備されていて、とても歩き易い。登りの急階段は嫌なものだが、下りの場合はとても有り難い。下山の途中には有名な「ゴジラみたいな木」があり、和ませてくれる。更に進むと沢沿いとなり、自生のワサビも見られた。最後に揺れる吊り橋も渡り、三股登山口に到着した。更に林道を800m歩き、第1駐車場からタクシーで穂高駐車場に移動した。その後、「しゃくなげの湯」で汗を流し、高速道路にて無事に事務所に帰着した。



今回の3日間の累積のぼり標高は2,265m、距離は19.3kmであった。距離的には長く無かったが、1日目の累積のぼり標高は約1,350mあり、食料、テント装備と共同装備を背負って登るに

は、それなりの体力が必要だ。私は個人装備をUL化することで、全体重量をある程度抑えることにより今回は何とか乗り切れたが、今回の重量が限界だと感じた。高山病は、事前対策で問題無く過ごせたが、空気が薄い所での行動力に課題を感じた。

いずれにしろ、念願であった北アルプスのテント泊縦走をチームとして体験できたことや、言葉には言い表せない絶景の数々を自分の目で直接見ることが出来たことは、私にとってこの上なく幸せなことである。山の会で無いと体験できない「夏合宿」を、思う存分楽しませて頂いたことに感謝の気持ちで一杯である。

## 雲早山（菊千代谷）

- 日 程 2024年8月17日（土）18日（日）
- 場 所 徳島県 那賀市
- 目 的 沢登り
- 参加者 3名
- 費用 走行距離 196km 2,600円

8月17日 7:00 出発＝10:30 駐車場…10:50 取り付き…15:30 ビバークポイント(920m)

事務所を7時に出発して、国道193号を進み「大釜の滝」を越えて橋の手前に車を駐車した。ここから橋の左側の小道を下り、河原へ下りて入渓。川の水はきれいで冷たく気持ち良い。小さい滝を越えて進むとゴルジュに差し掛かった。右岸から巻くため早くも登りになった。そこから谷に下りるため、懸垂下降を行う。私には実践初めての懸垂下降である。緊張しながら下りて行く。うまく行き一安心。谷に下りた所で休憩。天気は良いが周りの木々に日差しがさえぎられ、あまり暑さを感じない。その後も大きな岩が現れると、右に左に岩を巻いて登っては下りる。沢以外の登り下りが多い。そして2回目の懸垂下降もうまく行った。入渓から2時間半で「4条12m滝」が見えて来た。近くで見ると迫力があり、美しい滝である。ここも右岸から巻いて進む。その後も多くの滝が現れた。滝を越えたり、岩を登ったり、岩の下をくぐったり、そして滝壺の深みにはまって、びしょ濡れになることもある。どれも楽しい。「夏はやっぱ沢だ」。しかし足元は滑りやすく、岩に手足をぶつけることもあり、山歩き以上に技術が必要だと感じる。また地図で場所を確認しながら進むが、これが難しい。小さな谷が多く、読図力も要求される。そして出発から4時間50分、ビバーク出来そうな平らな地点（標高920m）に到着した。今回テントは持ち込まずに、タープを張ってその下でマットを敷いて寝る。これも初めての体験となる。タープ設営後に夕食の準備にかかる。CLとSLが釣り竿を出して、沢に向かって行った。「今から食材探し…？」既に16時を過ぎているので、タイム





リミットは2時間…。その間私は、飯を炊くことにした。木を集めて、石で作ったカマドで火をおこす。その上に米を研いだ鍋を吊るす。なかなかこれも楽しい。そうしていると、釣り人が帰って来た。見事に4匹釣り上げている。「素晴らしい！」ご飯を蒸している間に、豚汁を火にかけて、その横で「アメゴの塩焼き」をゆっくり焼き上げる。豪華な夕食となった。焚火を

囲んでも食事が更に良い。贅沢な夜を満喫した。

8月19日

4:00 起床 5:50 出発…9:45 雲早山…14:54 取り付き…15:05 駐車場…18:30 事務所

朝4時に起きて、ラーメンと昨夜のご飯で食事を済ませて出発した。沢はまだ薄く暗く、足元に気を付けてゆっくり進む。朝一はあまり濡れたくないので、深みを避けて歩いてしまう。1時間程進むと、「トイ状の5m ナメ滝」が現れた。ここはロープで確保し

てもらい登って行く。さらに進むと、赤い岩が増えて来た。そして「チャートのナメ滝」まで来た。赤い岩を流れる滝を見るのは初めてで美しい。ここもロープで確保してもらい登る事になったが、確保される前に登ってしまい注意を受ける。このようなミスが怪我に繋がるので、確認しながら行動すべしと反省する。チャートの滝を越え30分程進むと、沢の終わりとなった。昨日より蒸し暑く、沢を出ると日差しを受けて、更に暑く感じる。鹿にも遭遇して、鹿道を拝借して登り雲早山

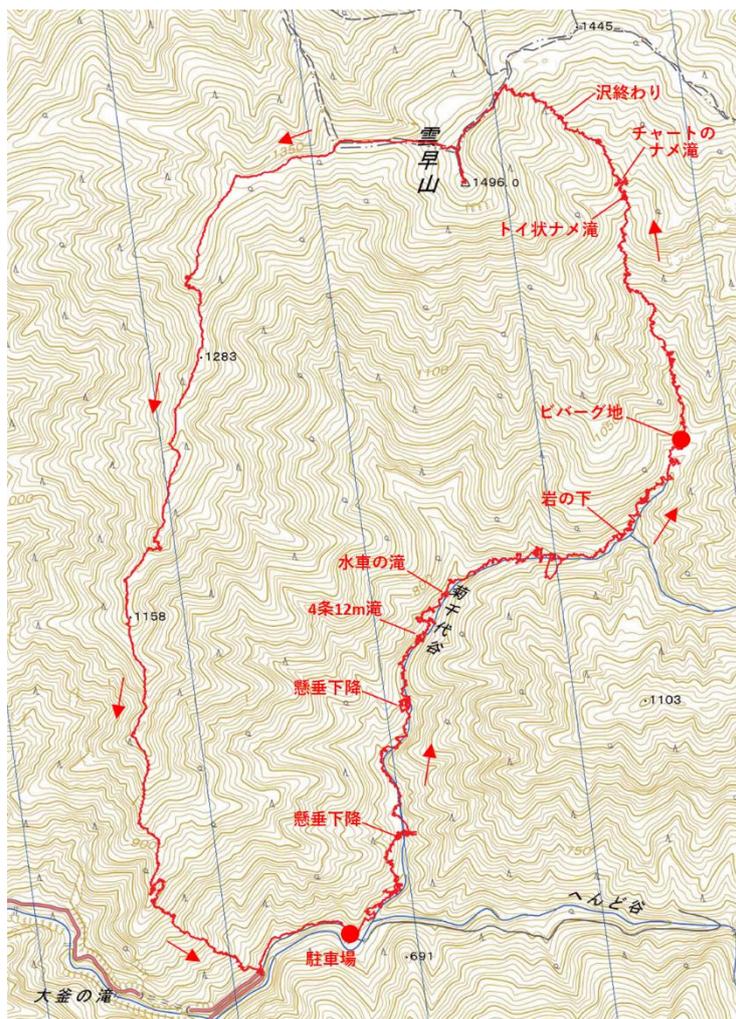


への稜線に出た。進路を南西に変え、9時45分雲早山山頂に到着した。山頂には雲早神社が祀られている。360° 展望が広がり素晴らしい。休憩後下りにかかる。本日のメインはここからとなる。雲早山標高1496mから駐車場まで、約930m下ることになる。登山道は無く、地図とコンパスで下りやすい道を見つけなくてはならない。山頂から主要な尾根を確認するが、難所が多々ありそうだ。標高1350mまでは、なだらかな歩きやすい尾根を下って行く。その後は尾根を探しながら、道なき道を進む。微妙に方向を変える所もあり、尾根を探すのに苦勞する。何度も立ち止まっては、地図とコンパスと風景を見ながら格闘する。そして最後はCLの解説に頷き、進むことになる。また地図には表れない大きな岩も出てくる。沢と同じで、大巻きして進む。後半は急な斜面を滑りながら下りて行く。そしてなんとか、取り付きまで下りて来た。山頂から5時間かかり、15時過



ぎに無事駐車場まで戻って来た。

今回の山行では、初日は沢の美しさと沢登りの楽しさ、そしてキャンプの楽しさを味わった。2日目は、ルートファインディングの難しさを味わった。後からGPSで確認すると、予定通りのルートを見事に進んでいた。CLのおかげである。ルートファインディングの技術を高めたいと思う。非常に内容の濃い山行であった。



個人山行報告

## 白馬岳 2,932m

- 日 程 2024年8月16日(金)～21日(水) 晴れ～霧
- 場 所 長野県白馬村 小谷村
- 目 的 白馬岳でゆっくりゆったりお花を楽しむ
- 参加者 4名  
(うち会員外1名)
- 費 用 距離1,353km 交通費17,100円/人+ロープウェイ4,000円/人 宿泊費67,100円

8月16日(金) 晴れ

事務所 5:45＝(北陸道)＝栂池駐車場 15:30－栂池ロープウェイ 16:00～16:35－栂池ヒュッテ 17:00

台風が東へそれることを願いながら事務所を出発したが、台風の影響なく梅池駐車場に到着した。梅池ロープウェイに30分ほど乗り、降りると鮮やかなピンク色のヤナギランの群生が出迎えてくれた。ロープウェイ駅で今見られる花の写真集を買い、レアな花まで全部見つけようと意気込む。梅池ヒュッテの夕食には、すき焼き鍋がついていて、大満足で就寝。

8月17日(土) 晴れ～霧

梅池ヒュッテ 5:30—天狗原 7:40—白馬乗鞍岳 9:50—白馬大池小屋 10:50 昼食—船越の頭 12:20—小蓮華山 13:35—三国境 14:40—白馬岳 15:50—白馬山荘 16:15

出発してほどなく、レアもののチョウジギクを発見し、嬉しくなる。ふと空を見上げると、雄大な山々に虹がかかっていた。この山行を祝福してくれているようで、胸がいっぱい!

天狗原では湿原の中の木道を歩き、とても癒されたが、その後は岩場が続き歩きにくかった。白馬大池小屋で昼食をとり出発。小蓮華山を過ぎた辺りで雷鳥の親子を発見し、足の疲れを忘れてしまった。白馬岳山頂付近になると、岩場が続き注意して進んだ。



白馬山荘では、この日たまたま「星空の夕べ」が開かれると聞き、参加する。JAXA 宇宙教育指導者の高田竜弥さんからお話を聞いた後、星空の観察を行った。月が明るく、天の川までは見えなかった。

8月18日(日) 晴れ

白馬山荘 6:10—丸山 6:40—(杓子岳トラバース)—白馬鑓ヶ岳 9:40—丸山 13:00—村営頂上宿舎 13:30—白馬山荘 14:10



昨日も素晴らしいお花がいっぱいだったが、今日の登山道には、さらにすごいお花畑が出現し延々と続く。お花の種類も数も豊富で夢のようだ。ミヤマアケボノソウなど、レアで美しいお花にうっとりする。杓子岳の山頂はザレて危険との情報だったのでトラバースの巻き道を通り、白馬鑓ヶ岳に向かうが、頂上辺りはやはり岩場があった。引き返す途中、目の前をゆっくり雷鳥が横切ってくれたので、しっかり観察できた。目の上が赤く、尾が白い。調べると、赤いのはトサカでオスにあることが分かった。近くの頂上宿舎に降りて、大雪溪の手前まで散策するか検討したが、時間的に白馬山荘に戻る。

8月19日(月) 晴れ

白馬山荘 6:20—三国境 7:40—小蓮華山 8:40—船越の頭 9:50—白馬大池ロッジ 11:00

早朝 3:30 に星空の観察に行くが、オリオン座くらいしか見えなかった。よく晴れていたため、5 時から御来光を見に行く。朝日に照らされた雲海と山々を見て、厳かな気持ちで出発する。白馬岳山頂を過ぎて振り返ると、槍ヶ岳、鹿島槍ヶ岳、白馬鎧ヶ岳の、やりがつく 3 つの山がきれいに見えた。



白馬大池の周りは岩がたくさんあり、滑らないように歩く。池には小さなクロサンショウウオがいてかわいい。小屋の夜ご飯のカツカレーが美味しかった。

8 月 20 日 (火) 晴れ時々小雨

白馬大池ロッジ 6:20—白馬乗鞍岳 7:00—天狗原 8:35—梅池ビジターセンター—10:15—梅池自然園散策 (10:30—13:30) —梅池ロープウェイ 14:20—駐車場 15:20—マウンテンロッジ Wiz16:00

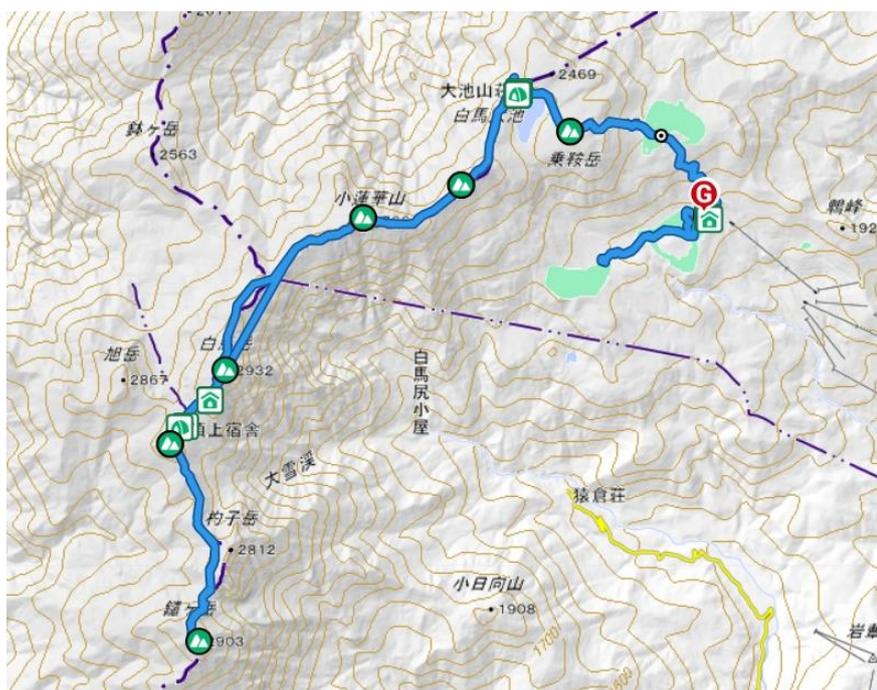
白馬大池の周りや天狗原の下辺りは岩場が続くので、一步一步慎重に下った。梅池自然園は大変広く、たくさんの植物があり 1 日過ごせそうだったが、小雨が降り出し途中で引き返した。

マウンテンロッジ Wiz に到着し、さっそくお風呂へ。汗を流してスッキリしたら、おしゃれな夕食が待っていた。カモのローストが大変美味しかった。

8 月 21 日 (水) 晴れ

マウンテンロッジ Wiz8:00= (名神) =山の会事務所 17:40

美味しい朝食をしっかり食べて出発。鹿島槍や爺ヶ岳が見えそうな道から帰るが、雲に隠れていた。雄大な山々と別れを惜しみながら、帰途に着く。車内では、次に登りたい山やルート、見たい花などの話題が尽きなかった。私にとって 5 泊 6 日の長い山行は初めてで不安だったが、メンバーの皆さんのおかげで、楽しくて忘れられない山行となった。



個人山行報告

北海道・斜里岳(オンネヌプリ)・トムラウシ・十勝岳

■日 程 2024年7/27土~8/03土

■場 所 北海道 オホーツク総合振興局管内斜里郡清里町斜里町 十勝総合振興局管内上川郡新得町上川総合振興局管内上川郡美瑛町 上川総合振興局管内上川郡美瑛町空知郡上富良野町十勝総合振興局管内上川郡新得町 石狩山地

■目 的 深田100名山に登る。 ■参加者 1名

■費 用(軽) ETC16380円 距離2324km 24.6km/l 94.5l 約1.6万円 新日本海フェリ-39200円×2 他約1万円 計約12万円

7/27土 善通寺1600=播但道舞鶴若狭道=舞鶴港 FT2350~新日本海フェリ~7/28日  
~2045小樽 FT=道東自動車道=仮眠 7/29月 曇り霧雨=清里町清岳荘 825→1010熊見峠→1155斜里岳→1310熊見峠→1500清岳荘=知床=別海 道の駅車中泊



「生演奏付き豪華客船」の旅の後小樽 FT に到着。翌日の天気予想は大体悪いが、道東の斜里岳はなんとかかなりそうで、オホーツク管内へ移動。自転車旅行で北海道の広さは承知しているはずだがなかなかの距離。登山口清岳荘から少し進むと溪流沿いの道になり、何度も沢を渡るが靴をぬらすことはなかった。下二股から安全優先で新道尾根コースをとり、熊見峠ではクマは出てこなかった。岩塊帯をはい上がり山頂に到達。本来はオンネヌプリと言う。ガスの中だが一瞬切れて広大な畑がみえた。

下りも尾根コースだが周囲が見えることはなかった。登山口に着くと本格的な雨になり、夕方と翌日は観光旅行とする。途中雨雲の切れ間から斜里岳の概要がわかったがかなりとんがった山である。クルマでは動物に多数遭遇。シカ キツネ シマリス 子連れヒグマなどである。



7/30月 風雨 道の駅=野付半島=霧多布=トムラウシ温泉=2030 短縮登山口 車中泊  
7/31火 曇り 登山口 400→730 前トム平→815 トムラウシ公園→935 トムラウシ山→1050 トムラウシ公園→1130 前トム平→1440 登山口=狩勝峠=2000 望岳台車中泊

道の駅で車中泊。風雨のためクルマで行けるところ限定。野付半島トドワラの枯れ木は消滅していたがナラワラはまだ残る。その後太平洋岸の海岸段丘上を走る。暑くない！釧路近辺から天気はましになり、十勝平野の北を横切って十勝川を延々とさかのぼり、トムラウシ温泉へ、さらにデコボコ道を経て短縮登山口に至り車中泊。



トムラウシは行程が長く、3 時過ぎに起きて 4 時に出発した。当初晴れで尾根道から雲海も見られたが雲が増え霧雨に会うこともあった。時々ガスが切

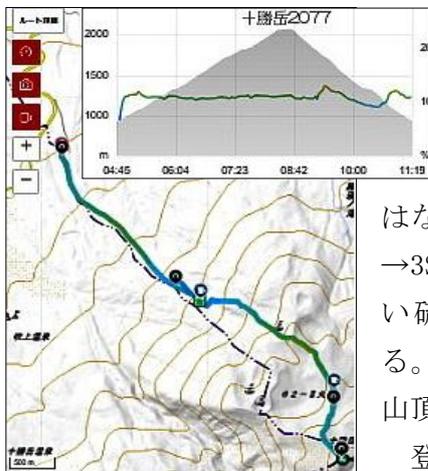
れて雪渓や岩石庭園なども見える。しばしば下って登り返しになるのがつら



い所。無事山頂についたがきれいに晴れることはなかった。再び長い道を延々と下り続けた。

登山口にはバイオトイレがあり、山中での携帯トイレの使用もすすめている。中村ムは玲子氏に強く言われて携帯トイレを持っていったが 10 時間の行程中使わなかった、ということは水分不足になっていて2lをこえて飲む必要があったことになる。再びクルマに乗り、狩勝峠を越えて美瑛町望岳台十勝岳登山口で車中泊。

8/01 木 晴れ 望岳台 445→600 十勝岳避難小屋→820 十勝岳→1020 十勝岳避難小屋→1115 望岳台=1500 御料峠=小樽港 FT2330~新日本海フェリ-8/02 金~2115 舞鶴港 FT=舞鶴若狭道播但道=8/03 土 210 普通寺



十勝岳は活火山で、かつて爆発によりおおぜいの犠牲者を出している。本日は晴天で強い日差しのもと順調に登り始める。植生

はない。2H<sub>2</sub>S+S<sub>2</sub>O<sub>2</sub>→3S+2H<sub>2</sub>O で黄色い硫黄の結晶と湯気ができる。最後は岩塊の間をぬって山頂へ。好天で登山者は多数。



登山口望岳台に戻ると 25℃

で、下るとたちまち 30℃。夏に暑いと愚痴るのは最低ですぐに引越せだが、道東まで行く必要がある。空知留萌境の御料峠に「河川の争奪」という地形的に興味深い所を見に寄った。信砂川に注いでいた流域が、東から浸食してきた恵岱別川に盗られている。新日本海フェリ-は当日予約でき、小樽から再び丸一日の乗船となった。船内入浴し熟睡し、舞鶴から帰り着いた。



9月			10月		
1	日	比叡山・沢登2	1	火	会報部会
2	月		2	水	
3	火	会報部会	3	木	例会
4	水		4	金	
5	木	例会・虎丸山・涸沢準備会	5	土	リーダーのロープの使い方
6	金		6	日	手箱山
7	土		7	月	
8	日	Enjoy座学修了式・遭難考える集い	8	火	
9	月		9	水	山行部会
10	火		10	木	
11	水	山行部会	11	金	穂高・涸沢3コース
12	木		12	土	
13	金		13	日	
14	土	立山バス登山 3コース	14	月	
15	日		15	火	
16	月		16	水	事務局会議
17	火		17	木	運営委員会・比良ロングトレイル準備会
18	水	事務局会議	18	金	
19	木	運営委員会・北穂準備会	19	土	岩トレ7・岩歩き基礎
20	金	女体山準備会	20	日	女性交流
21	土		21	月	
22	日		22	火	
23	月		23	水	
24	火		24	木	
25	水	登山学校実行委員会・原稿締切	25	金	原稿締切
26	木		26	土	
27	金		27	日	四プロ遭対講習会
28	土		28	月	
29	日	虎丸山・岩場基礎訓練	29	火	
30	月	女木島準備会	30	水	登山学校実行委員会
			31	木	

◆月会費:1,100円 入会金:1,000円

◆申し込み・問い合わせ先 ☎(0877)22-0036 佐藤



こめつつじ No519

発行: 善通寺山の会 会報部	発行日: 2024/9/3
住所: 〒765-0021香川県善通寺市下吉田町143-1	
発行人: 三野	編集責任者: 村上しのぶ